

UCS ディレクタ ライセンスに関する FAQ

目次

[概要](#)

[どのように UCS Director のためのライセンス ファイルを得ますか。](#)

[だれにののために助けるために回りますか。](#)

[あり、何が UCS Director のためにののためのあるライセンスとは何か。](#)

[評価ライセンス](#)

[狩猟許可証](#)

[サーバーベース ライセンス](#)

[企業 使用許諾契約 \(ELA\)](#)

[評価ライセンスの上に CUIC-PHY-SVR または CUIC-SP-PHY-SVR ライセンスをインストールできますか。](#)

[認可しますキャパシティを倍増するために 2 EVAL が NFR をインストールできますか。](#)

[複数のシステムで同じライセンスをインストールできますか。](#)

[アクティブ/スタンバイ な 設定の Nexus1000v VSM のペアは 2 つのネットワークデバイス ライセンスを消費しますか。](#)

[UCS ファブリック相互接続 \(FI\)、Nexus 2000 年ファブリック エクステンダー \(FEX\) のまたは Nexus1000v 仮想 な イーサネットモジュール \(VEM\) はネットワークデバイス ライセンスを消費しますか。](#)

[サーバライセンスによって許されるよりより多くの VM を管理したいと思う場合どのライセンス 必要としますか。](#)

[ベアメタル サーバ ライセンス \(CUIC-PHYSVRBM\) は完全なサーバライセンス \(CUIC-PHY-SVR\) にアップグレードすることができますか。](#)

[サーバごとの管理された VM の量は 50 サーバ VM か 250 デスクトップ VM に制限されますか。](#)

[CUIC-PHY-SVR-VR ライセンスと CUIC-PHY-SVR を混合できますか。](#)

[UCS Director が UCS ドメインのすべてのブレードを検出する場合各ブレードのためにサーバ ライセンスを必要としますか。](#)

[UCS Director は別途のライセンスが HP iLO をサポートするように要求しますか。](#)

[UCS Director との EMC VMAX または VPLEX システムを管理するためのライセンス必要条件とは何か。](#)

[EMC RecoverPoint アプライアンスはどのように UCS Director で認可されるか。](#)

[Isilon ストレージはどのように UCS Director で認可されるか。](#)

[UCS Director との EMC VNX または EMC VNX2 システムを管理するためのライセンス必要条件とは何か。](#)

[NetApp ストレージ モデルはどのように UCS Director で認可されるか。](#)

[サイト リカバリ マネージャ \(SRM\) が VMware 管理された環境で使用されるとき UCS Director の別途のライセンスを必要としますか。](#)

[このエラーメッセージが表示されないようにする方法: 「ライセンスをアップデートするエラー。 永遠ライセンスはシステムで現在インストールされています。 永遠ライセンスがインストールされている場合サブスクリプション ベース ライセンスを追加できません。」](#)

[シナリオ 1: 永遠ライセンスを今までのところではインストールしてもらわないとき新しいライセンスのための要求は失敗されます。](#)

[シナリオ 2: 永遠ライセンスが既におよびインストールされているとき今サブスクリプション ライセンスをインストールすることを試みます。](#)

概要

この資料は Unified Computing System ディレクター (UCSD) のための認可についての最も一般に尋ねられた質問を記述したものです。

現在の情報のほとんどはここに UCSD バージョン 4.1.0.1 およびそれ以降に相当です。

より古いバージョンでインストールされたライセンスは自動的にまたはそれ以降を 4.1.0.1 にアップグレードするとき変換されます。

より古いバージョンのために発行されるライセンスはまだバージョン 4.1.0.1 およびそれ以降でインストールすることができ、自動的に変換されます。

企業 Cloud スイート サブスクリプション ライセンスに関しては、UCSD バージョン 6.0.0.1 またはそれ以降が必要となります。

UCS Director のためのライセンス ファイルを得る方法

自由な 60日間評価ライセンスは[このリンク](#)に発注されたオンラインである場合もあります。

いくつかのライセンスは提供するバンドルに含まれているかもしれませんがバンドルは CUI-SP-PHY-SVR ライセンスとともに Cisco UCS Cシリーズ ラック サーバを購入するために利用可能かもしれません。

他のライセンスは正常な販売 ルートを通して発注することができます。

発注される各ライセンスに関しては Product Authorization Key (PAK) を受け取るべきです。[Cisco ライセンス登録ポータル](#)でこの PAK が UCS Director によって読むことができるライセンス ファイルを生成するのにそれから使用することができます。

だれにののために助けるために回りますか。

PAK を得る支援に関してはパートナー/販売業者が Cisco のアカウントチームに相談して下さい。PAK をアクティブにする assistance に関しては licensing@cisco.com に連絡するか、または [Cisco グローバル な認可オペレーション チームとのケースをオープンして下さい](#)。

UCS Director にライセンスを (EVAL または NFR ライセンスを除いて) インストールする支援に関してはキーワード UCS Director および設定の参考を使用している [サポート ケース マネージャ](#)を使用して TAC ケースをオープンして下さい。

あり、何が UCS Director のためのののためのあるライセンスとは何か。

これらの表は利用可能なライセンスおよび使用例をリストします。

以下の事項に注意して下さい:プロダクト ID (PID) 命令する間の違い、およびライセンス ファイルの中で示されている機能を作ることは重要です。例えば発注は CUI-BASE-K9LICENSE という結果に CUI-SP-BASE-K9LICENSE および生じる PAK をアクティブにすること終わります。

評価ライセンス

製品 ID (PID)	ライセンス 機能	説明
	EVAL-CUIC-BASE-K9	評価ライセンス バンドル。 このリンク からの自由のために発注することができます。
	EVAL-CUIC-PHY-SERV	次の体験版が、60 日間有効な含まれています:
EVAL-CUIC-BUN	PHY-STOR EVAL-CUIC-PHY-NETW EVAL-CUIC-PHY-OTH EVAL-CUIC-XPOD-S EVAL-CUIC-XPOD-M	1 UCS Director 基礎ライセンス、 100 サーバライセンス (+2500 VM)、 30 のネットワーク ライセンス、 30 のストレージ ライセンス、 15 の他のライセンス、 ExpressPod/FlexPod Express 4 つの小さいライセンス、 4 つの ExpressPod/FlexPod Express メディア ライセンス

狩猟許可証

製品 ID (PID)	ライセンス 機能	説明
	NFR-CUIC-BASE-K9	ラボのインストールの Cisco 販売代理店のためでないため転売 (NFR) ライセンス バンドル。
	NFR-CUIC-PHY-SERV	このライセンスは Cisco の販売代理店 NFR プログラムの契約 条件によっ
	NFR-CUIC-PHY-STOR	合されます。
NFR-CUIC-BUN	NFR-CUIC-PHY-NETW NFR-CUIC-PHY-OTH NFR-CUIC-XPOD-S NFR-CUIC-XPOD-M	次が含まれます。 1 UCS Director 基礎ライセンス、 25 サーバライセンス、 10 のネットワーク ライセンス 10 のストレージ ライセンス、 10 の他のライセンス、 ExpressPod/FlexPod Express 4 つの小さいライセンス、 4 つの ExpressPod/FlexPod Express メディア ライセンス。

サーバーベース ライセンス

注: これらのライセンスはまた例えば CUIC-SVR-OFFERS 提供するバンドルの一部として利用可能かもしれません。 オフリングが変動するかもしれないように Cisco パートナー/販売業者がアカウント チームとチェックして下さい。

製品 ID (PID)	ライセンス 機能	説明
CUIC-BASE-K9 CUIC-SP-BASE-K9	CUIC-BASE-K9	EVAL ライセンスを使用した場合) UCS Director の各インストール 他のどのライセンスのもインストールは基礎ライセンスが最 HA (高可用性) シナリオでは、プライマリおよびセカンダ す。
CUIC-PHY-SVR CUIC-SP-PHY-SVR CUIC-PHY-SVR-10 CUIC-PHY-SVR-50 CUIC-PHY-SVR-100 CUIC-PHY-SVR-250+	CUIC-PHY-SVR	これは数えられたライセンスです、すなわちある程度のサー 各数は 50 サーバ VM か 250 デスクトップ VM 動作する 1 つ び 1 つのネットワーク ノードおよび 1 つのストレージ ノー
CUIC-PHY-SVRBM CUIC-PHY-SVRBM-10 CUIC-PHY-SVRBM-50	CUIC-PHY-SVRBM	これは数えられたライセンスです、すなわちある程度のサー 各数は 1 人のベアメタル サーバ (すなわちサーバーで実行)

CUIC-PHYSVRBM-100
CUIC-PHYSVRBM-250
CUIC-PHYSVRBM-500
CUIC-PHYSVRBM-1K+

用に資格を与えます。

さらに、各々の2つの数は1つのネットワークノードおよび

。例：CUIC-PHYSVRBM-50 ライセンスは50人のペアメタル
ストレージノードの使用を可能にします。

CUIC-PHY-STOR
CUIC-PHY-STOR-11
CUIC-PHY-STOR-51
CUIC-PHY-STOR-101
CUIC-PHY-STOR-251+
CUIC-PHY-NETW
CUIC-PHY-NETW-11
CUIC-PHY-NETW-51
CUIC-PHY-NETW-101
CUIC-PHY-NETW-251+

CUIC-PHY-STOR ストレージシステムのための数えられたライセンス。

CUIC-PHY-NETW ネットワークデバイスのための数えられたライセンス (Cisco

CUIC-PHY-OTH

CUIC-PHY-OTH

まだ使用されない。L4-L7 デバイスのためのサポートが追加
ばロードバランサ)。

企業ポッド ライセンス バンドル。

次が含まれます。

4 サーバライセンス

2つのネットワーク ライセンス

2つのストレージ ライセンス

CUIC-POD-ENT

注: 基礎ライセンスは含まれていないし、別々に得る必

Expresspod 小さいライセンス バンドル。

次が含まれます。

25 サーバライセンス (UCS Cシリーズにサーバを制限される

6つのネットワーク ライセンス (Nexus1000v および Nexus

2つのストレージ ライセンス (NetApp に 2220) 制限される

CUIC-XPOD-S

注: 基礎ライセンスは含まれていないし、別々に得る必

Expresspod 中間ライセンス バンドル。

次が含まれます。

75 サーバライセンス (UCS Cシリーズにサーバを制限される

6つのネットワーク ライセンス (Nexus1000v および Nexus

2つのストレージ ライセンス (NetApp に 2240) 制限される

CUIC-XPOD-M

注: 基礎ライセンスは含まれていないし、別々に得る必

CUIC-XPODS-UP
CUIC-XPODM-UP

CUIC-XPOD-S からの完全なライセンスへのアップグレード

CUIC-XPOD-M からの完全なライセンスへのアップグレード

企業 使用許諾契約 (ELA)

詳細については Cisco 再販売業者/パートナーまたは Cisco販売販売担当者を参照して下さい。

注文可能 PID は ELA-CUIC-BASE-K9 が含まれています、

nnn が第例えば 500 であるかところ、ELAC-CUIC-SERVnnn (キャップされる) および ELAU-
CUIC-SERVnnn (ふたを取られる) 700、...

評価ライセンスの上に CUIC-PHY-SVR または CUIC-SP-PHY-SVR ライセンスをインストールできますか。

いいえ。評価ライセンスは既にサーバライセンスの固定番号が含まれて、この量を変えることができません。

CUIC-PHY-SVR または CUIC-SP-PHY-SVR ライセンスをインストールするために、最初に CUIC-BASE-K9 ライセンスと評価ライセンスを取り替える必要があります。

認可しますキャパシティを倍増するために 2 EVAL か NFR をインストールできますか。

いいえ、評価および狩猟許可証はスタックすることができません。

複数のシステムで同じライセンスをインストールできますか。

これが許可される唯一のシナリオは、その稼動システムでそれらを展開する前にコンフィギュレーションをテストするのに使用される遅れステージングシステムで本番 UCSD システムのライセンスをインストールするときあります。

HA (ハイ アベイラビリティ) シナリオの複数の稼動システムを、配置するとき、各本番 UCSD システムは自身のライセンスを必要とします。

アクティブ/スタンバイ な 設定の Nexus1000v VSM のペアは 2 つのネットワークデバイス ライセンスを消費しますか。

いいえ、アクティブ/スタンバイ なペア単一の ネットワーク デバイス ライセンスだけを必要とします。

UCS ファブリック相互接続 (FI)、Nexus 2000 年ファブリック エクステンダー (FEX) のまたは Nexus1000v 仮想 な イーサネットモジュール (VEM) はネットワークデバイス ライセンスを消費しますか。

いいえ、FI、FEX または VEM はライセンスを必要としません。

サーバライセンスによって許されるよりより多くの VM を管理したいと思う場合どのライセンス必要としますか。

別途の VM ライセンスがありません、従って追加サーバライセンスが必要となります。例えば管理されたデータセンターが 600 サーバ VM を動作する 10 のサーバで構成されていれば合計 12 サーバライセンスが必要となります。

ベアメタル サーバ ライセンス (CUIC-PHYSVRBM) は完全なサーバライセンス (CUIC-PHY-SVR) にアップグレードすることができますか。

いいえ完全なサーバライセンスに、ベアメタル サーバ アップグレードすることができません。

サーバごとの管理された VM の量は 50 サーバ VM か 250 デスクトップ VM に制限されますか。

(1 サーバ VM が認可されたサーバ間で自由に配ることができる 5 つのデスクトップ VM と同等であるかところで) いいえグローバルプールに、すべての VM 数追加されます。従ってたとえば 2 つのサーバおよび 2 つの CUIC-PHY-SVR ライセンスとの小さいセットアップに 100 サーバ VM (か 500 のデスクトップ VM) のプールがあり、(40 サーバ VM として数える) のたとえば 60 サーバ VM を 1 ホストおよび 200 デスクトップ VM 持つ場合があります他方では。

CUIC-PHY-SVR-VR ライセンスと CUIC-PHY-SVR を混合できますか。

いいえ、CUIC-PHY-SVR-VR ライセンス Cisco が計算のための 1 つの基礎付いている制限機能性ライセンスです。それらは UCSD システムで既にインストールされるすべての機能性 CUIC-PHY-SVR ライセンスがあっているまたその逆にも使用することができません。それはしかし可能な限り CUIC-PHY-SVR-VR から CUIC-PHY-SVR ライセンスへアップグレードすることでも。詳細についてはパートナー/販売業者が Cisco のアカウントチームに相談して下さい。

UCS Director が UCS ドメインのすべてのブレードを検出する場合各ブレードのためにサーバライセンスを必要としますか。

UCS Director バージョン 4.1 現在のいいえ、どのブレードが UCS ディレクターによって管理され、どれがないか選択することは可能性のあるです。管理されたブレードだけサーバライセンスを必要とします。

UCS Director は別途のライセンスが HP iLO をサポートするように要求しますか。

いいえ、iLo HP サーバを管理するちょうどエントリポイントです。iLO に別途のライセンスが必要となりませんが、HP サーバ自体は他のブレードのように扱われ、それ故にライセンスを必要とします。

UCS Director との EMC VMAX または VPLEX システムを管理するためのライセンス必要条件とは何か。

各 EMC VMAX または VPLEX システムは 2 人のディレクターが含まれていて各エンジンが 1 つ以上のエンジンから、成っています。UCS Director は各 VMAX または VPLEX ディレクターに対応した記憶装置 ライセンスがあることを必要とします。

EMC RecoverPoint アプライアンスはどのように UCS Director で認可されるか。

1 ストレージ ライセンスは UCS Director の RecoverPoint アプライアンスごとに必要です。

Isilon ストレージはどのように UCS Director で認可されるか。

1 ストレージ ライセンスは UCS Director の Isilon ノードごとに必要です。

UCS Director との EMC VNX または EMC VNX2 システムを管理するためのライセンス必要条件とは何か。

EMC VNX および EMC VNX2 システムはストレージ プロセッサごとに認可されます。各ストレージ プロセッサは対応した UCS Director 記憶装置 ライセンスを必要とします。追加ライセンスはデータ発動機のために必要ではありません。

NetApp ストレージ モデルはどのように UCS Director で認可されるか。

UCS Director はモデルおよび管理された磁気 ディスク 装置に関係なく NetApp FAS コントローラ 1人あたりに、認可されます。

サイト リカバリ マネージャ (SRM) が VMware 管理された環境で使用されるとき UCS Director の別途のライセンスを必要としますか。

SRM に追加ライセンスが必要となりません。

このエラーメッセージが表示されないようにする方法: 「ライセンスをアップデートするエラー。永遠ライセンスはシステムで現在インストールされています。永遠ライセンスがインストールされている場合サブスクリプション ベースライセンスを追加できません。？」

シナリオ 1: 永遠ライセンスを今までのところではインストールしてもらわないとき新しいライセンスのための要求は失敗されます。

常置基礎ライセンス (CUIC-BASE-K9) はまた永遠ライセンスとみなされます。ただし UCS Director バージョン 6.0.0.1 から始まってその上にサブスクリプション ライセンスをインストールすることは可能性のあるです。ライセンスをアップグレードし、次に再度適用して下さい。

注: まだこのバージョンとサブスクリプション ライセンスおよび永遠 (常置) ライセンスを混合することはできません。

シナリオ 2: 永遠ライセンスが既におよびインストールされているとき今サブスクリプション ライセンスをインストールすることを試みます。

UCSD 6.0.0.1 から始まって永遠基礎ライセンス (CUIC-BASE-K9) の上にサブスクリプション ライセンスをインストールすることは可能性のあるですが、永遠およびサブスクリプション追加項目ライセンスを混合することをまだサポートしません。オプションを論議するために再販売業者か Cisco のアカウントチームに相談して下さい。